

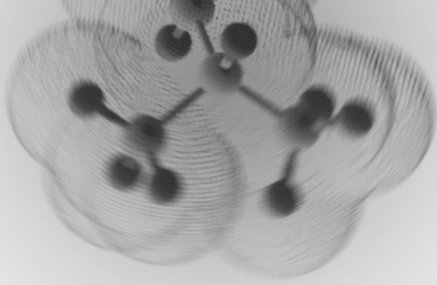


安達 勇(あだち・いさむ)
新潟大学医学部卒業。1969年同部付属病院第1内科助手、78年国立がんセンター病院腫瘍内科医長。86年中国医科大学客員教授を経て2002年より現職。03年から診療管理監。専門は緩和医療学、臨床腫瘍学、臨床内分泌学。日本緩和医療学会理事など歴任し厚生労働省がん研究助成金による研究班などで活躍している。

人間の尊厳を大切にする医療

緩和医療の診療科は耳新しくて、一体どういうことをしてくれるのだろうかと疑問が多々あります。緩和医療の歴史的背景は、1960年代になってヨーロッパ、特にアメリカ、イギリス、それからアメリカを中心に、ホスピス運動という形で展開され、この運動から人間の尊厳を大切に医療の考え方が発展し、医学知識、技量を緩和医療学として医学教育にも取り込まれ、今日に至っています。

もっと知りたい！がん医療



〈企画・制作／静岡新聞社営業局〉

医療者はサポーター

人は、誕生から死に至るまで、さまざまな事象に遭遇しては、自分の好き嫌いや考えに基づいて自分で判断を下します。事象の中でも入学、卒業、就職、結婚、そして病気などが大きな事件といえるでしょう。

病気になるたとき、しかもがんだと言われてしまったとき、それを受けてどうしようもない状況に陥ると、その人の個性豊かな反応の一つだと思えます。そこにその



薦巢賢一(とびす・けんいち)
兵庫県淡路島生まれ。1974年京都大学経済学部卒業、日本電信電話社(現NTT)入社。その後医師を志し、82年京都大学医学部卒業。同大医学部付属病院泌尿器科、滋賀成人病センター、国立がんセンター病院を経て、2002年に現職。

心が高まり、緩和医療科が診療科として位置づけられるようになった背景には、がんや生活習慣病の増加など疾病の変化と少子高齢化などの社会の変化によって在宅で死を迎えることが少なくなり、病院での死が多くなっています。

緩和医療とはどのような医療か

静岡がんセンター緩和医療科部長 安達 勇氏

直されてきております。WH O(世界保健機構)の定義では、積極的な治療が難しくなった患者さんの苦痛を取り去り、生活の質を高めて心理的、社会的な支援を行い、症状をコントロールし、受けとめてくれるようなケアを行う、ときそれは、医師、看護師だけでなく栄養士を含めて各種の

で、ご家族の悩みを聴いて、ご家族の心情を理解し、その苦痛を緩和することも大切なケアの一つとなっております。緩和医療は、大きく四つの柱に位置づけています。一つは外来での緩和治療と面談を軸として、二つ目は緩和ケア

不安、恐れを理解して解決できる点は解決しながら、生きがいの心よりどこを、何に求められるかということも察知するようにしております。緩和ケアを提供するのは、緩和医療科の役割です。施設面では、各診療科の治療棟がある本棟の4階に17床を開設し、もう一つは別棟で17床ですが、5月から25床が開設される予定です。

がん医療の最前線を総合的に学ぶ県立がんセンター公開講座「もっと知りたい！がん医療」(静岡新聞社・静岡放送主催、同センター共催、特種製紙株式会社協賛)の第7回講座が今月19日、三島市一番町の三島市民文化会館で開かれました。同センターの安達勇緩和医療科部長が「緩和医療とはどのような医療か」をテーマに講演しました。その概要を紹介いたします。なお、今年度の講座は今回が最終回です。来年度は、今年10月にスタートする予定です。

一縷(る)の望みを託して、さまざまな治療法を模索し、その際の治療の目的は、そのがんが原因で命を落とさない、そのがんで苦しめないことです。そして病気の進行具合、タチの悪さ、可能な治療法の内容・特徴、本人の健康状態、期待余命、希望など

二つの事例を紹介いたします。自分自身が、あるいは大切な人が次のような状況になったら、どんな選択をするでしょうか。考えてみてください。

治療法は本人が選択

具体的に説明するために、

治療法の選択肢として提示

医療の現場から生きる「い」を考える

静岡がんセンター 薦巢賢一氏

を総合的にとらえ、損失を最小にして生涯を生き抜く、がんによる死亡が免れない場合には、可能な限り快適に、自分が納得できる人生を送るための治療法や緩和医療を選択します。

自されたのは次の四つです。①すぐに前立腺摘出手術をする②しばらく薬の治療で時間をかせぎ、いずれ本格的な治療を行う④何もしない

率が高くなります。そして④の何もしないですが、非常に早期の前立腺がんから進行がんに行くのに10年から20年かかるといわれ、実際にスウェーデンなど北欧では、早期の前立腺がんはあまり治療しません。

この選択は、まさしくその人にとって重要な「人生の選択」です。本人自身による判断こそが第一に重要な

33歳男性、多数の転移がある精巣がんの方でした。2児の父親でした。型通りに、最初に抗がん剤による化学療法が4コース行われました。しかし、効果が

転移のある精巣がんでは、最初の化学療法がうまく効いていない、有意義に過ごしていただくために、何を選択すべきでしょうか。ここでは、その人の考え方、生き方のスタイルが鍵になってきます。医療者は、一緒に考え、できるだけ